

4 破傷風

避難するときには命がけなので、気がつきにくいですが、かなりいろいろな所をぶつけたり、何かが刺さったり、切ったりして、破傷風の危険性がある。支援活動のときも同様。破傷風は発症すると致死率の高い疾患。若年者では破傷風の毒素に対する抗体保有率は高いが、高齢者では少ないので復旧作業中などは要注意。

【症状】

発熱／口のこわばり／傷の腫脹／後弓反張／歩行障害

【対応】

- がれきの撤去作業に入る前には、破傷風トキソイドの予防接種を受けるよう指導する。
- けがをしないように厚手の靴や手袋の着用を勧める。
- 受傷した場合、オキシフルなどで消毒する。

【破傷風のハイリスク】

- 外傷のある人、とくに地面や土で汚染された未処置の傷のある人。
- 高齢者。



POINT 外傷の既往があり、傷が未処置で、口のこわばりなどが出現したら破傷風と判断し、医療機関へ救急搬送する。